



考える子【創造】 思いやる子【自律】 やりぬく子【剛健】

錦江の風

令和6年度
7月号
始良市立錦江小学校



「子どもたちの今の色は…」

校長 中熊 豊仁

「大丈夫だよ、保健室に行こうね。」

たくさん子どもたちが取り囲んでいます。校庭で遊んでいて転び、けがをしたようです。見守っている子どもたちが口々に「大丈夫だよ。」と声をかけています。上級生の子数人が、けがをした子の体を支えて校舎の方へ向かいます。けがが多いとすれば考えものですが、そんなに多いことではない、ふとした時に見られる子どもたちの頼もしい姿です。錦江には優しい子どもがとても多いということを実感させられる毎日です。

そして、あっという間に、夏がやってきました。学校の玄関には、ひまわりをはじめ、様々な色をした夏の花が咲いています。早くも1学期が終わります。この三か月、各学年の子どもたちの印象的な姿は…

朝、正門から校舎へ戻る時に、1年生の明るく元気な歌声が聞こえてきます。聞こえてくる「今月の歌」は、月の後半に向けて、歌詞ははっきりと、歌声は明るく、のびやかに…。確実に上手になっていっているのが分かります。

進級して教室が2階へと移動した2年生。これまでと違う窓から見える景色。少しお兄さんやお姉さんになって誇らしい気持ちもあるのでしょうか、毎朝たくさんの顔が窓の外へ向けて並び、「おはようございます。」の元気な声が校庭に響きわたります。

中学年になった3年生。全校朝会などの集会ではどの学級よりも先に体育館へ入ってきます。話し声も足音も出さず歩き、整然と並んで腰をおろします。その後も、静かで落ち着いた雰囲気を作り出し、他の学年の手本となる姿で待っています。

錦江小の卒業生である教育実習生やカナダからの体験入学生との一緒に時間を過ごした4年生。いつも見せる元気のよさと真剣さ。めりはりのきいた姿で、優しく温かく先輩や体験入学生を迎え入れ、夢をもつことや違う世界を知ることの大切さを学びました。

いろんなことに挑戦した5年生。集団宿泊学習に向けて、テントの設営や飯ごう炊飯に事前に取り組みました。ああでもない、こうでもない自分たちで調べ考え、学習当日は、施設の方が驚くほどの手際よさでカレーをつくり上げていました。

最上級生としての6年生。1年生の教室へ行っても校庭へ出ても、いろんな場面で6年生が下級生の世話をしたり、リードしたりする場面に出合います。5年生の時の姿とは明らかに違う、あこがれの存在と言える姿を見せてくれています。

一つ一つの学級・学年や一人一人の子どもが、それぞれの目標をもって過ごした1学期。各学年や各学級の色、子どもたちを支える教師の色が共に、少しずつ、少しずつ見えてきているようです。一人一人の色が混ざり合い、互いに影響しながら、今後どのように変化する、そして3月に向けて、それぞれがどのような色になっていくのでしょうか。1学期、ぐんと成長した子どもたちの姿を見ながらとても楽しみになっているところです。

熱中症警戒アラートの発表が続き、ここ2週間ほど、子どもたちは昼休み時間を室内で過ごしてきました。今年も暑い夏になりそうです。熱中症、交通・水難事故、不審者事案、SNSトラブル等、子どもたちの安心安全へ配慮すべきことは、たくさんあります。皆が健康で楽しい夏休みを送れることを心から願っています。

